

三代 きりたけ かんじゅうろう 桐竹 勘十郎 芸歴 人形浄瑠璃文楽座・人形

[芸歴]

- 昭和42年 7月 文楽協会人形部研究生となる（14才）
三代吉田箏助に師事、吉田箏太郎と名のる
- 昭和43年 4月 文楽協会技芸員となる
初役は、大阪毎日ホールにおける「壇浦兜軍記・阿古屋琴責の段」の水奴
- 平成15年 4月 大阪・国立文楽劇場において、三代桐竹勘十郎を襲名
「絵本太功記・尼ヶ崎の段」の武智光秀で披露
- 平成15年 5月 東京・国立劇場において「尼ヶ崎の段」の武智光秀で
三代桐竹勘十郎を襲名披露

[受賞歴]

- 昭和48年 2月 国立劇場奨励賞
- 昭和49年 5月 昭和48年度因協会奨励賞
- 昭和50年 1月 昭和49年度文楽協会賞
- 昭和50年 6月 昭和49年度因協会奨励賞
- 昭和53年 1月 昭和52年度文楽協会賞
- 昭和54年 1月 昭和53年度文楽協会賞
- 昭和56年 8月 昭和55年度因協会奨励賞
- 昭和57年 1月 昭和56年度文楽協会賞
- 昭和57年 8月 昭和56年度因協会奨励賞
- 昭和58年 1月 昭和57年度文楽協会賞
- 昭和59年 1月 第3回(昭和58年度)国立劇場文楽賞文楽奨励賞
- 昭和59年 9月 昭和58年度因協会奨励賞
- 昭和61年 2月 第3回咲くやこの花賞
- 昭和61年 8月 昭和60年度因協会奨励賞
- 昭和62年 1月 昭和61年度文楽協会賞
- 昭和63年 1月 第7回(昭和62年)国立劇場文楽賞文楽奨励賞
- 昭和63年 1月 昭和62年度文楽協会賞
- 昭和63年 2月 大阪府民劇場賞奨励賞
- 昭和63年 9月 昭和62年度因協会奨励賞
- 平成元年11月 昭和63年度因協会奨励賞
- 平成 4年11月 平成3年度因協会奨励賞
- 平成 5年11月 平成4年度因協会奨励賞
- 平成 6年 1月 第13回(平成5年)国立劇場文楽賞文楽奨励賞
- 平成 7年 3月 芸術選奨文部大臣新人賞
- 平成 8年 7月 平成7年度因協会奨励賞

平成10年 7月	平成9年度因協会賞
平成11年 1月	第18回(平成10年)国立劇場文楽賞文楽優秀賞
平成11年 3月	第20回松尾芸能賞(優秀賞)
平成13年 7月	平成12年度因協会賞
平成15年 1月	第22回(平成14年)国立劇場文楽賞文楽優秀賞
平成15年11月	平成14年度因協会賞
平成16年 1月	第23回(平成15年)国立劇場文楽賞文楽優秀賞
平成16年 9月	平成15年度因協会賞
平成20年 2月	平成18年度因協会賞
平成20年 3月	芸術選奨文部科学大臣賞
平成20年 4月	第27回(平成19年度)国立劇場文楽賞文楽大賞
平成20年11月	紫綬褒章
平成21年 4月	第28回(平成20年度)国立劇場文楽賞文楽大賞
平成22年 5月	平成21年度(第66回)日本芸術院賞
平成22年11月	大阪市市民表彰
平成24年 4月	第31回(平成23年度)国立劇場文楽賞文楽大賞
平成24年12月	平成24年度大阪文化賞
平成25年 4月	第32回(平成24年度)国立劇場文楽賞文楽特別賞
平成26年 1月	平成25年度十三夜会賞年間大賞
平成26年 6月	平成25年度名古屋演劇ペンクラブ賞
平成28年 1月	第57回毎日芸術賞(演劇・邦舞・演芸部門)